

薬物は絶対ダメ

広島県江田島市立江田島中学校 2年 たかがい 鷹谷 しゅんわ 俊和



少し前のことですが、夜に珍しくお父さんが大きな声で電話をしていました。内容は、分かりませんが、電話を切ると「呉まで行ってくる」と言い車庫の方へ行きました。夜の十時は過ぎていました。お母さんも心配して「今から？どこへ行くの？」と尋ねていました。「今日面接約束のA君とやっと電話がつながったから、今から会いに行ってくる」と行って出て行きました。呉のどこで？誰と？面接って何？と思いながらその日は寝ました。

朝起きてお父さんがいて少しほっとしました。「何時に帰ってきたの？」と尋ねると「日が変わってすぐくらいかな」と答えました。そのときのお父さんの表情は、とてもすがすがしかったです。

夕方学校から帰ってきて「昨日は何をしに行ってたの？」と尋ねました。「最近の生活の様子を聞いていたんだよ、色々困っていることが多そうだからね」と言いました。そして「時々あの人は困った人だと決めつけてしまう人がいるけど、困った人はいなくて、いるのは困っている人なんだよ」と言いました。「お父さんはそういう人の手助けを役目をしているんだよ」と笑いながら話してくれました。

お父さんは保護司をしています。実際は何をしているのかは全く分かりませんが時には夜遅く出かけたり、車で遠くへ行ったり、何時間も待たされたり、約束を守ってもらえなかったりすることもあるみたいです。

僕はお父さんの言った「困った人はいない、いるのは困っている人だ」という意味がよく分かりませんでした。

現在の僕はサッカー部に所属して、毎日厳しい練習をしています。大きな大会に行くと本当に上手な選手が多くてすごく焦ることもあります。そのような選手が高校サッカーの強豪校に入って、プロ選手になったり、大学の強豪校で活躍するのかなと思います。僕は上手な選手から影響をもらい負けないように努力をしています。

そんな時、夏休みにテレビを見ていると、有名な大学のスポーツをしている選手が寮で薬物を使用しているというニュースを見ました。どうしてそんなことをしたのだろう、入部をしたくても、上手でなければできないチームなのに、自分の体にも悪いし、もしも薬物を使用していることが見つかったら逮捕されるし、そうなるチームや仲間に迷惑がかかるのになと思いました。

大麻は通称で、ゲートウエイドラッグと言われています。強い副作用や依存性のある薬物使用の入り口となることがあるそうです。激しい心体症状がでに

くく自分でも気づかないうちに、依存症になっていることが多いそうです。そしてこの刺激だけでは満足できなくなり、もっとおそろしい薬物に手を出してしまうこともあるそうです。一回でも使用してしまうと罪の意識が少なくなり、それでたびたび使用してしまうのだと思います。本当におそろしいです。

では、なぜスポーツ選手が薬物を使用してしまうニュースを聞くのでしょうか？それは周りから過度な期待のストレス、レギュラーになれないことへのイラダチが関わっていると思います。

しかし、どのような理由があったとしても絶対に薬物に手を出してはいけません。

お父さんに聞いてみると「みんな最初は薬物に手を出してはいけないと分かっているはず、でも人間の心は弱いから、これくらいなら大丈夫、少しならばねえだろう、一回くらいなら体に悪くないだろうと思ってしまうのだと思うよ」と言っていました。そして「それが大きな間違いなんだけどね」とつけ加えました。

僕は以前お父さんが言っていた「困った人はいない、いるのは困っている人だ」という言葉を思い出しました。困ってどうすることもできなくなったから、薬物に手を出してしまう、もし相談できる先生や友達、親がいたなら、きっと思い止まることができたのではないかと思います。

もし僕が相談を受けることがあったなら、しっかりと話を聞こうと思います。僕も弱い心を持った人間だけど、薬物だけでなく悪いことは絶対にしてはいけないときちんと伝えたいです。

そしてそれによって困っている人が少なくなっていけば、社会が明るくなっていくと思います。